



シラバス参照

タイトル「2020年度シラバスー1年生(N/E/S)」、フォルダ「共通科目 (N/E/S) -社会に生きる」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|--|--|---------|-------|
| 科目名 | 多様性と倫理 | | |
| 担当教員名 | 安達 宏之 | | |
| ナンバリング | NEd1024 | | |
| 学科 | 共通科目 (N/E/S) -社会に生きる | | |
| 学年 | 1年 | クラス | 1Aクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | |
| 授業形態 | 講義 | 単位数 | |
| 資格関係 | | | |
| 実務経験の有無 | 無し | | |
| 実務経験および科目との関連性 | 無し | | |
| ねらい ①科目の性格 ②科目の概要 ③授業の方法 (ALを含む) ④到達目標 ⑤ディプロマ・ポリシーとの関係 | <p>①科目の性格 「生物多様性」をキーワードに、具体的な事例を取り上げながら、多様性と倫理について考えていく。 (学部学位授与方針 1、2、3に該当する)</p> <p>②科目の概要 前半は、生物多様性を中心とした環境問題の現状や国際社会の動向、個別事例を通して、生物多様性の現状を学ぶ。 後半は、前半から抽出できる倫理を紹介するとともに、生物多様性をめぐる法の考え方を取り上げ、保全すべき生物多様性とは何かを学ぶ。</p> <p>③授業の方法 (ALを含む) 教科書を使用した講義と、生物や自然、環境問題に関する画像や映像を提示した講義から成る。また、具体的な課題を提起して質疑応答を織り交ぜ、学びを深めていく。</p> <p>④到達目標 「生物多様性」やその保全の在り方について具体像を描けるきっかけを得るとともに、「生物多様性の保全」、「生態系の中の人」、「多様性と倫理」について理解する。</p> <p>⑤ディプロマ・ポリシーとの関係 この科目は、大学のディプロマ・ポリシーの以下の資質・能力を育成することを目的とする。 ⑥-1グローバルマインド、⑥-2未来を創造する力</p> | | |
| 内容 | <p>1 「多様性と倫理」を考える 2 「生物多様性」とは何か 3 日本社会の現状とグローバリゼーション〔共通テーマ〕 4 持続可能な社会のための課題と取り組み〔共通テーマ〕 5 企業と環境 6 企業と生物多様性 7 企業と環境 ー各企業の取り組みと課題 8 企業と生物多様性① ー各企業の取り組みと課題 9 海の生物多様性と倫理、社会① ー東京湾三番瀬の自然と開発 10 海の生物多様性と倫理、社会② ー自然再生と市民参加の課題 11 人と生物多様性① ー生命倫理、環境倫理を考える 12 人と生物多様性② ー一人にとって保全すべき生物多様性とは 13 法と生物多様性① ー人権と「自然の権利」、「動物の権利」 14 法と生物多様性② ー環境法の進展と課題 15 まとめ ー生物多様性の保全とは何か</p> | | |
| 各授業回における授業外学習の内容・所要時間 | <p>【事前予習】授業中に告げられる次回授業のテーマについて、インターネット等により情報を収集し、論点を確認する(各回60分)。 【事後学修】今回授業で学んだことを確認し、当該テーマの論点を再確認し、自らの見解をまとめる(各回60分)。</p> | | |
| 評価方法および評価の基準 | 授業への参加度30% (毎回の講義において質問をするので積極的に議論に参加する)、レポート70%とし、総合評価60点以上を合格とする。 | | |

| | |
|-----------------------------|--|
| | 【フィードバック】授業の中で質疑応答の時間を設け、理解を深めるようにする。 |
| 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名） | 【教科書】安達宏之『生物多様性と倫理、社会』（法律情報出版、2020年3月刊行予定） |
| 学習上の助言、教員からのメッセージ、履修上の注意点など | 地球環境が危機的な状況の中、「生物多様性」が国際社会のキーワードのひとつになっています。その現状と課題を学ぶとともに、「生命とは何か」「人と他の動物は異なるのか」「保全すべき生物多様性とは何か」など、私たちが生きていくうえで大切な疑問も丁寧に考えていきたいと思います。 |



【各章目次】(2/13/19) 目次表共1で示して、(2/13/19)後半1-5で各章目次を示す。また目次は以下のように示す。



| | | |
|---|---|---|
| | <p>1. 生物多様性の概念</p> <p>2. 生物多様性の価値</p> <p>3. 生物多様性の脅威</p> <p>4. 生物多様性の保全</p> <p>5. 生物多様性と人間社会</p> <p>6. 生物多様性の未来</p> | |
| <p>1. 生物多様性の概念</p> <p>2. 生物多様性の価値</p> <p>3. 生物多様性の脅威</p> <p>4. 生物多様性の保全</p> <p>5. 生物多様性と人間社会</p> <p>6. 生物多様性の未来</p> | <p>1. 生物多様性の概念</p> <p>2. 生物多様性の価値</p> <p>3. 生物多様性の脅威</p> <p>4. 生物多様性の保全</p> <p>5. 生物多様性と人間社会</p> <p>6. 生物多様性の未来</p> | <p>1. 生物多様性の概念</p> <p>2. 生物多様性の価値</p> <p>3. 生物多様性の脅威</p> <p>4. 生物多様性の保全</p> <p>5. 生物多様性と人間社会</p> <p>6. 生物多様性の未来</p> |
| <p>1. 生物多様性の概念</p> <p>2. 生物多様性の価値</p> <p>3. 生物多様性の脅威</p> <p>4. 生物多様性の保全</p> <p>5. 生物多様性と人間社会</p> <p>6. 生物多様性の未来</p> | <p>1. 生物多様性の概念</p> <p>2. 生物多様性の価値</p> <p>3. 生物多様性の脅威</p> <p>4. 生物多様性の保全</p> <p>5. 生物多様性と人間社会</p> <p>6. 生物多様性の未来</p> | <p>1. 生物多様性の概念</p> <p>2. 生物多様性の価値</p> <p>3. 生物多様性の脅威</p> <p>4. 生物多様性の保全</p> <p>5. 生物多様性と人間社会</p> <p>6. 生物多様性の未来</p> |